

山行報告

■台湾・^{チーシーシャン ジーロンシャン}七星山と基隆山ハイキング

＜女性委員会山行＞

●日 程：4月9日(火)～11日(木)

●参加者：L三木(悦) SL尾越 SL垣内 香川 河合 木村 田羅間 待場 村上 矢根

●行動記録：

- (9日)関西国際空港9:30発～台北・桃園空港(11:30着)12:30発～基隆山・登山口(13:40着)14:00発～基隆山山頂(14:45着)15:10発～登山口(15:35着)15:40発～九份散策(15:50着)16:45発～レストラン(17:50着・夕食)19:00発～ホテル(19:55着)
- (10日)ホテル7:30発～陽明山国立公園(8:20着)8:30発～小油坑登山口(8:40着)～七星山主峰(9:45着)10:00発～七星山東峰(10:20着)10:25発～冷水坑登山口(10:45着)11:00発～行義路温泉(12:00着・入湯・昼食)13:50発～お土産店お茶屋(14:50着)16:00発～ホテル(16:30着)
- (11日)ホテル9:00発～行天宮・占い横丁(9:10着)10:00発～松江市場(10:10着)10:25発～ホテル(10:30着)11:30発～台北・桃園空港(12:40着)14:30発～関西国際空港(17:45着)

◆基隆山ハイキングと九份散策

香川

9日、姫路4時55分始発の空港リムジンバスに乗り関空に到着。
台北の桃園空港には、現地男性ガイドの高さん(なんと身長193センチ)と20人は乗れる台湾らしいカラフルな専用車が迎えてくれました。

今日の予定は空港から車で1時間ほどの基隆山ハイキング(1.5時間)と九份観光です。

日本よりかなり蒸し暑く、体調が悪くなった2人を途中の東屋に残し、山頂(587m)まで続く石の階段をゆっくりと登りました。しかし残念ながら山頂は霧で九份の街や東シナ海の展望は白く霞んでいました。途中で振り返ると、山斜面に屋根付きの小さな家屋のようなお墓が沢山見られ死後は居心地がよさそうです。

下山後は楽しみにしていた九份老街散策。ゴールドラッシュに沸いた時代の面影が残る街で、石畳の両側に食べ物のお店が並び独特な香りが漂っています。ガイドの高さんに草餅を買ってもらい、千と千尋の神隠しのモデルになった?!茶楼で烏龍茶の入れ方の説明を受けながら美味しいお茶やお菓子を沢山いただき、幸せ気分でした。



そして夕食は高級そうな台湾料理のお店で、温かい紹興酒に梅干しを浸して乾杯！アワビの前菜やカラスミのチャーハン、ニンニクのきいた空芯菜の炒め物・・・次から次へと運ばれるごちそうを堪能しました。早朝からの長～い充実した一日となりました。

◆七星山山行

木村

2日目。ホテルで早めの朝食をとり7時30分に迎えの車でホテルを出発。日本を出る時は、10日は雨模様の予報でしたが朝は晴れていてほっとしました。車で登山口まで1時間ほどでしたが、桜とツツジが同時期に咲いており車窓からの眺めを楽し



しむことができました。

今日登る山は陽明山国立公園内にある七星山主峰(1120m)と七星山東峰。

登山口近くで車を降りると、シューという硫黄の吹き出す大きな音が聞こえました。

ガイドの高さんの案内で岩肌から煙が噴き出しているところや、地面からぷくぷくと泡が噴き出している様子を見学してから登山開始です。

登り始めて暫くは岩肌が硫黄で黄色くなっていて、煙が出ているところもありましたが、やがて矢竹の間の石段の登山道になりました。

矢竹が日光を遮ってくれ、風も吹いていたので昨日の山行の時のような暑さは感じるこ

となく、みんなでおしゃべりをしながら歩くことができました。

青空の下、山頂からは周囲の山々がきれいに見えましたが台北の街は残念ながら霞んでいました。

七星山主峰から少し下って七星山東峰に登り下山して、冷水坑ビジターセンターに立ち寄りました。その後、行義路温泉へ。この温泉は台北市民にも人気があるそうです。

食事と温泉入浴が楽しめる施設で私たちも入浴後、温泉養生料理を頂きました。

そしてお腹を休め、夕食には飲茶のお料理も頂きました。

今日は晴天に恵まれ山行ができ、観光ツアーにはない温泉にも入り楽しい一日になりました。

*九份老街とは台北北部の山間にある街、かつて金鉱発掘の街、今は赤い提灯の街で人気。多くの観光客で賑わう。

*矢竹は陽明山域にはえているイネ科の大型ササ、高さ2～4mまで伸びる。

*七星山は「陽明山国立公園」内にある大小七つの峰からなる山。

◆日本語が通じる台北の街

河合

最終日(11日)は9時から歩いてホテル近くの行天宮へ行く。関聖帝君を主神としの救世主を祀り広く徳を施し崇められ、多くの信者が参拝する。龍と鳳凰の建築は美しく都心ながら落ち着いた雰囲気である。境内の案内の方に教わりながら、名前、生年月日、住所、願い事を告げ、マットに上半身を繰り返し伏せる。その丁寧さが心を落ち着かせるようだ。おみくじは休みだと言われたが、三日月の赤い木片を二つ箱からとり、真似て投げると表裏が出ておみくじが引ける神の許しが出た。が、くじ棒とその番号のくじ紙は休みで貰えなかった。事務所でお賽銭を渡すと名前、年齢、住所、金額を印字した証明と平安を祈願したカードを戴く。皆さんの対応はとても優しく、日本語を話される方もおられる。

次に行天宮前の地下街に潜り日本のTVがよく取材している占い横丁を通る。日本語OKの大看板が目を引く、易者は年配の女性達で、四柱推命で占うのだろうか、冷やかして終える。

ホテルの裏にある古い松江市場はお惣菜、雑貨、八百屋などが混在し賑やかだ。仲間はお菓子屋で紹興梅を求め値段交渉で盛り上がっている。店主の駆引きを見ていると面白い。

山歩き、観光、グルメ店、温泉と楽しい台湾山行の企画有難うございました。

◆女性委員会・海外山行を終えて・・・

三木(悦)

台湾は日本から近く親日国、低山のハイキングなら女性委員会の山行にもいいのではと考え昨年12月の女性委員計画委員会で提案して、台北市の最高峰七星山と新北市基隆にある有名な観光地の側にそびえる基隆山を計画した。

両山の登山道はよく整備され歩きやすかったが、到着日は亜熱帯地方の暑さと湿度には身体が戸惑いを感じた。2日目のハイキング後は地元の人が利用するラジウム温泉に浸かり疲れをほぐし、美味しい台湾料理で元気を取り戻した。ホテル近くの寺院・行天宮にも参拝でき、山歩き以外にも台湾の歴史と文化に触れた3日間だった。親睦を図りながら観光ツアーにはない体験が出来たのではないのでしょうか。



入山申請がいらない「台湾小百岳」にもう少し触れてみたくなった。

■京都北山・金毘羅山(572.8m)と^{すいたい}翠黛山(577m)

●日程：4月21日(日)

●参加者：La 須増 SLa 藤本 阿部 泉 大谷 小田(敏) 狩集 笹木 村上 森下 山本(清)

Lb 三木(悦) SLb 尾越 有本 兼澤 川上 木村 黒本 島谷 平石 矢根 山下(純)

●行動記録：JR 姫路駅 07:21 発—京都駅—東福寺駅・京阪東福寺駅—京阪出町柳駅・バス—戸寺バス停(10:30 着)ストレッチ後 11:00 発～元井出橋(11:05 着)～江文神社(11:20 着)11:30 発～琴平新宮社(12:10 着)12:15 発～金毘羅山山頂(13:00 着)13:20 発～翠黛山(13:50 着)14:00 発～寂光院道(14:45 着)15:00 発～大原温泉・大原の里(15:20 着)解散

◆春の京都北山・金毘羅山・翠黛山に登る

泉

平成31年4月21日京都北山に向けてJR春の関西1デイパス3600円を利用して、各駅から姫路発7:21の新快速に乗り込み参加者22人が京都駅に着いたのは8:59。そこから奈良線で一駅、東福寺駅に行き乗換切符で京阪電車に乗り換え出町柳駅まで。



そこから路線バスを利用して私達が乗り込めば満員状態の立ったままで戸寺バス停に向かう。立ったままでしたが、道沿いに八重の桜が綺麗に咲いていて嬉しかったです。戸寺バス停に着いたのは10時半ころでした。バス停前の小さな直売店でトイレを借り、何も買わずに店内のトイレだけ！は？と気を遣って何かしら買物をして私は桜餅を1つ！おはぎを買

い求める人も多くいました。これがまた！！美味しかったのです。丁度小腹がすいていたので糖分がこれから登る元気をくれました。

駐車場を出発し少し歩いた所で準備体操をして11時前に出発、村の中を抜け江文峠から江文神社に寄り今日の山行の無事をお願いしました。572.8mの金毘羅山へと歩き始めましたが、あちこちに大木が根こそぎ倒れていて荒れた山道でした。どうやら昨年のおおしな被害を齎した台風の爪痕のようです。倒木の下をくぐり上を跨いでの荒れた登山道に苦戦しました。いい天気にも気温も上昇、汗かきの私はこまめな水分補給に注意しながら金毘羅山を目指しました。山頂三角点を前にして最後に急な岩場の箇所があり手前でリュックを置き身軽になって希望者のみで三角点まで行き、手前に戻ってから揃って昼食休憩をとりました。からだを休めエネルギーを補給して翠黛山577mに向け出発です。上り下りしながら30分程で13時52分に着きました。少しの休憩をして大原寂光院へと向かいました。

山道は同じく荒れていましたが、ヒカゲツツジや石楠花・コブシ・藪椿が美しく咲いていて楽しませてくれました。

一度の休憩をはさみ15時過ぎに枝垂桜が咲き誇る寂光院に到着。各自、見学や足湯など希望があり整理体操をしてそこで解散となりました。私は途中で入浴1000円（おはぎ飲物付き）の看板を見付けていたので、ちゃっかり大原温泉で汗を流しおはぎを食べて大原バス停から家路につきました。温泉に付き合ってくれたお二人ありがとうございました。春を満喫できる山行でした。

リーダーさん皆さんお世話になりありがとうございました。



大原三山

焼杉山(717m) 翠黛山(577m) 金毘羅山(572.8m)

■雄鷹台山(赤穂市)

＜女性委員会山行＞

- 日 程 : 5月1日(水・祝)
- 参加者 : La 木村 SLa 垣内 有本 尾越 川上 田中(由) 苦瓜 山下(純)
Lb 澤田(律) SLb 田中(重) 大野 狩集 中村 廣岡 藤原(千)
- 行動記録 : JR 姫路駅 8:39 発～JR 坂越駅(9:10 着)9:30 発～後山登山口 9:43 発～後山山頂
(10:46 着) 11:00 発～雄鷹台山(11:27 着)12:00 発～雄鷹台山西下山口(13:00 着)
13:10 発～JR 赤穂駅(13:15 着)

◆雄鷹台山山行

廣岡

令和元年5月1日雄鷹台山に記念登山となりました。坂越の駅に降りた時、リーダー木村さんが「あの山ですよ」と指をさされた山は、私には大きく映りました。標高253mと赤穂の土地に惹かれ参加を決めたのですが目の前の山は、大きくて三角形でした。ストレッチを済ませ踏切をわたり、2号線沿いの細い山道の登山口に足を踏み入れました。昨夜から朝にかけて降った雨は影響もなく、しっとりと濡れた枯葉の道をいい感じで登って行きました。が、しばらくして急坂が続き後山山頂に到着。およそ40分、その間、もし雨が降ったら大変な登山になったであろうと思いました。足場もゴロゴロ、水の流れた後はボコボコ。端の方の草の根に足を置きながら、時に、張ってあるロープを手にして山頂に到着。眼下は霧に覆われていました。小休止して防火帯を歩きました。道幅も広く、両側に大きな木が並び、それを見ながら下って、登って、下って、登って、グイッと左側に曲がって雄鷹台山方面に。途中、ヤマモモの木が沢山あって「実」の気配が無いのかなんとか言いながら、今回は葉の緑の美しさを堪能しました。何回上り下りを繰り返したか。やっと雄鷹台山山頂へ。

ここでは、千種川が海に注がれ、そこにひらけた赤穂の町が展望できました。美しい景色を見ながら楽しい昼食後、山を下りる道は、涼やかな「ドウダンツツジ」の花のトンネルが続き圧巻でした。

一つ、ふもとから見えたフワフワの白い花の木の名前が分からず宿題となりました。後日、垣内さんからこの花の名前は「クロバイ」だと連絡が入りました。

皆無事に赤穂駅に着き街を散策するグループと直帰グループに別れ解散となりました。余計な事ですが直帰グループは大方、岡山方面に行く所でした。発車時間が上りと下りが同じ時間だったので。

リーダーの木村様、サブリーダーの澤田様、皆様本当にありがとうございました。楽しかったです。



■六甲・森林植物園を經由して徳川道を巡る

- 日 程 : 5月1日(水・祝)
- 参加者 : L森本 SL木下 小田(敏) 兼澤 谷口 西川
- 行動記録 : 谷上駅8:50 発～森林植物園(10:00 着) 10:40 発～桜谷出会い(11:10 着) 11:20 発～穂高湖(12:00 着) 12:20 発～長峰橋(14:00 着)～護国神社(14:10 着) 14:25 発～阪神石屋川駅(15:20 着)

◆初めての六甲山徳川道を歩く

小田(敏)

令和元年初日記念に六甲山徳川道を歩いて来ました。鉛色の雲に覆われたどんよりした朝でした。集合場所の谷上駅改札口を出ると「令和記念切符」を買い求める人の長蛇の列が出来ていたのに驚きました。世の中「令和時代」幕開けで盛り上がっているようです。私達も山行後の



の特別イベントとして、灘の酒蔵で令和祝い酒の試飲を楽しむ酒蔵巡りをリーダーが計画してくれました。

駅に着くと小雨が降っていたので、雨具等着用準備し、まず森林植物園を目指して男性4名女性2名でスタート。5分も歩くともう森の中に入り、沢沿いで雰囲気もよく、道も歩きやすく令和・三種の神器の話題等で和気あいあいと楽しく話が弾んだ。

森林植物園では、シャクナゲやドウダンツツジが満開で見頃でした。モミ

ジの新緑も美しく心が癒された。もっとゆっくり観賞していたかったのですが、今日はここが目的じゃないので足早に通り返した。東門を出ると川の中に大きな石が並べてあり、そこを渡らなければなりません。昨日の雨で増水しており、滑りそうで腰が引けてこわごわとしたが何とか渡れた。傍に「徳川道の飛び石渡し」の説明板がありました。

その後もこの様な滑りやすい飛び石が何か所もあり、渡渉の良い経験になりました。

川の横を進む徳川道を歩きます。杉木立の緩やかな静かな道。「時代劇のお殿様が馬に乗って走るシーンの撮影ができそうだね。」「機材運べないよ！」なんて話が盛り上がった。

徳川道は、「兵庫開港に当り参勤交代の行列と外国人とのトラブルを避けるため、迂回路として幕府の命で整備された道であったにもかかわらず、大政奉還のため一度も正式に使われることなく廃道となってしまった。」とN氏が説明してくれた。リーダーからも事前に徳川道資料を配布して貰っていたので、よく理解出来ました。更に登って行く途中に「徳川道石積み」の説明板がありました。しかし、崩れてしまって、よく判りませんでした。

予定の穂高湖周回コースを取りやめ、穂高湖畔で昼食をとることにしました。雨を凌ぐ場所がなく、仕方なく雨に濡れながら急いで食べました。雨混じりのおにぎりもいい思い出になることでしょう。その後は、柚谷道(そまだにどう:カスケードバレイ)を下る。最初は、石段でルンルンと調子が良かったが、段々と険しい下りとなりストックを使って、皆さんについていくのがやっとで余裕がありませんでした。摩耶砂防ダム辺りでは、すっかり雨も止み良かった

です。下山しても街中は、結構な急坂な道路で足が疲れた。護国神社にお参りしストレッチ後、ひたすら石屋川の左岸にある徳川道起点の標識を探しながら歩き続けました。やっと公園の片隅にある標識を見つけましたが、一部字が消えて無慚な状態でした。その前で全員記念撮影をし、石屋川駅で山行終了。私は、疲れて酒蔵巡りに行く元気がなかったので、駅でお別れした。4名の方は、引き続き酒蔵の試飲を楽しまれ口の保養になったようです。今回は、お天気に恵まれず、展望もよくありませんでしたが、歴史を感じながら歩くことが出来、色々勉強になりました。

リーダーをはじめ、ご同行の皆様、大変お世話になりました。有難うございました。

■矢筈山縦走(市原～野村)

●日 程：5月6日(月)

●参加者：L藤本 SL赤木 尾内 乙坂 木下 田中(重) 田中(由) 増田 森下 安田 山本(清)

●行動記録：市原森林公園 9:00 発～市原登山口(9:30 着)～P 3 0 6 (10:05 着)～P 2 9 5 (10:30 着)10:35 発～矢筈山(11:20 着)12:00 発～P 2 9 8 (12:45 着)12:50 発～P 2 6 8 (13:55 着)～野村登山口(14:20 着)14:20 発～西脇市図書館(14:35 着)

◆令和元年に新緑の矢筈山縦走

森下

平成から令和へと元号が変わる4月27日(土)から5月6日(月)迄の初めての10連休、その最終日の5月6日に西脇市の矢筈山縦走に参加しました。8時30分に図書館駐車場に集合、11名が3台に分乗し約6.5km北方の市原森林公園まで移動し、ここでストレッチ。早朝からランドゴルフの参加者が集まって来ておられました。60歳代の息子さんと思われる方が母親らしき方を連れて車を降りられたのには、これからの私達の姿を想い心が温かく成りました。

リーダーを先頭にスタート、少し行くと入口のしっかりとした獣除け柵から入り、いきなり険しい登りを経て獣除け柵を出る、この間約20分程。ここで車道に出てすぐに市原登山口より登山開始。306mのピーク迄約20分この間結構な急登で思いの外足にくる。次は下りであまり視界の開けない中を黙々と

歩く。295mのピークに出た。ここは木の間から西脇市街が良く見える。心なしかホッとす。小休止の後又急登が始まる。ここから案外早く矢筈山山頂(363m)に到着。ここで記念写真を写し、お昼には間が有りましたが、お弁当タイムとなる。12時頃出発し約25分程歩いた所で見晴らしの良い場所に立派な展望台が有り休憩。南には遥か彼方に六甲山系から雄岡山・雌岡山、東は白髪山や白山の山々が連なり素晴らしい眺めでした。ここからは又上りあり下りありで298mのピークを通り、その後もアップ・ダウンを繰り返して268mのピークに午後2時に到着。



野村登山口へ下山し図書館駐車場まで無事歩き通す事が出来ました。道は良く整備されていて、全体に歩き易かったのですが、花木でベニドウダン(一本だけ)とクロバイ(白い花をつける)が咲いていたのですが、つつじやあせびが終ってしまい、草花に出会えなかったのが少し寂しかったです。

リーダー様お世話になり有り難うございました。皆様お疲れ様でした。

■家島あるき 2回目・坊勢島へ

- 日 程 : 5月8日(水)
- 参加者 : L上田 SL木村 阿部 泉 内海 大谷 砂川(延) 砂川(美) 中村 廣岡 藤田 待場 和田
- 行動記録 : 姫路港9:00 発～坊勢港(9:32 着)10:00 発～弁天島(10:05 着)～恵美酒神社(10:00 着)波切神社(10:25 着)～長井神社～坊勢スポーツセンター～坊勢中学校(11:00 着)～坊勢島横断～恵美酒神社(11:50 着)(昼食・散策)～坊勢港13:40 発～男鹿島立野浜(14:00 着)～鹿公園～青井の浜(14:30 着)～立野浜(15:40 着)16:10 発～姫路港(16:40 着)

◆家島②に参加して

中村

一昨年の夏、坊勢漁業組合が運営している妻鹿のとれとれ市場で行列に並び、食べた魚料理がおいしかったので、いつかその漁港を訪れたいと思っていた。

山行当日は、青空がさえわたり、海もキラキラ輝いていた。島を半周位して、3か所の港を



見回した。入江には、頑丈な岸壁(栈橋)が連なり、多くの漁船が接岸できるようになっていた。それにしても、漁船の多さに圧倒された。昼食に入った寿司屋のご主人に聞いたところによると、島は700世帯で人口ざっと2,100人、漁船は1,000隻だそうだ。エビやかきの漁は大型の船で、今は春、鯛やさわらの漁は小ぶりの2艘で、という具合に季節の漁によって船を使い分けるといふ、瀬戸内海の豊かさを感じさせる。

漁港には、様々な漁具が並んでいる。

網や籠の他、鉄製のブイ? 鍬が連結した錨のようなもの? それにしても広い海。魚を追い込むのは、大変な労力を要するんだと思った。

続いてお隣の男鹿島は、夏の海水浴場の島。と思いきや、採石が産業の島。島自体が岩の塊のようだ。島は私有地らしく、公道はない。ゆえに、車にはナンバープレートがついていない。車検も税金もかからない? まさに島時間が流れていた。

同じ姫路市に住んでいるが、暮らしぶりは様々。もし、島に生まれていたら、いったい自分に何ができるのだろうと考えこんでしまった。

今回、家島②を計画していただいたリーダーをはじめ、同行のメンバーの皆様。楽しい島歩きになりました。ありがとうございました。

■赤坂山 824m

<ゆっくリズム山行>

- 日 程 : 5月9日(木)
- 参加者 : L澤田(律) SL藤原(千) 小田(敏) 田中(重) 田中(由) 橋本(万) 平石 藤本 舛賀 山本(清)
- 行動記録 : マキノ高原さらさ(9:25 着)9:30 発~登山口(9:40 着)~あずまや休憩所(10:40 着)10:50 発~栗柄越(11:50 着)11:55 発~赤坂山山頂(12:10 着)12:35 発~明王ノ禿(13:00 着)13:05 発~赤坂山山頂(13:25 着)13:30 発~栗柄越(13:40 着)~あずまや休憩所(14:35 着)14:45 発~登山口(15:30 着)15:40 発~マキノ高原さらさ(15:50 着)

◆花の百名山(赤坂山)に登る

平石

赤坂山は滋賀県と福井県の境界にある823、8mの山「関西花の百名山」の一つで「花の山」として多くの登山客が訪れる。そこに憧れて今回初参加。

今日は、久々の早起き山行です。春の関西1デイパスを使って、姫路5時45分発、湖西線に乗り換え、マキノ高原バスに乗り換えてマキノ高原温泉に9時24分に着きました。

ここから登山口に向かう途中、広々とした芝生の上に豪華なテントがポツリと1張り、10連休を避けたのか、それとも休みがとれなかったのか、今はゆったりのんびり出来いいねです！

今日は、絶好の山行日和でほぼ終日曇り空、でも視界は

クリア！です。赤坂山へは、最初から延々と階段が多く、ただひたすら登り続ける。ふと、見上げるとブナの新緑が眩く美しい。少し登って行くと左手から川のせせらぎ、滝の音が聞こえてくる。その涼を感じながらどんどん登って行くと1時間程で東屋がありました。そこでまずは一休さん！

東屋を少し過ぎた頃からチラホラとイワカガミを見かけ、時々歓声が聞こえてくる。

だんだん登って行くにつれてイワカガミの群生が至る所にあり、「何コレ！」「えっ、これも」「また、これも」あまりの凄さに登りが苦手な私も、疲れも暑さも忘れスムーズに歩くことができました。イワカガミは頂上付近まで続いていました。「花を探しながら愛でながら歩ける早さっていいですね！花のパワーって凄いなあ！」と思いました。

イワカガミの他にオオバキスミレ、カタクリ、サラサドウザン、キランソウ、トキワカリソウ、アオダモ、オオカメノキなどたくさんの花に出逢うことができました。

ブナの新緑とイワカガミの花を満喫した大満足の1日でした。

長い列車の中では、先輩方の話を聞いたり色んな山行の話に花が咲きとても楽しい時間を過ごさせていただきました。



リーダーをはじめ一緒いただきました皆様ありがとうございました。



【オオイワカガミ】
イワウメ科イワカガミ属
多雪地のブナ林、林床に
群生する常緑多年草

P S イワカガミ、正しくはオオイワカガミのようです。
花の名前は、花博士藤本様の写真集から引用させていただきました。

■高森ボランティア

- 日 程：4月20日(土)
- 場 所：成井と長尾の分岐
- 参加者：内海 木畑 島本 澤田(律) 砂川(延) 荘所 藤原(千) 待場 三木(悦) 森本

◆活動報告

砂川(延)

4月の高森ボランティアは成井、長尾の分岐点に「⇒長尾」の案内標識を設置しました。又、少し下の登山道の岩場に補助ロープの設置も行いました。参加者は10名でした。当日は現地へ高御位神社の長谷川さんにも立ち会ってもらいました。現地に行かれた方は確認しておいてください。

